



10月号

2014年

月	火	水	木	金	土	日
---	---	---	---	---	---	---

		1	2	3	4 ◆作文倶楽部 土曜日クラス	5 
6 	7	8	9	10	11 ◆作文倶楽部 土曜日クラス ◇第9回 SST 年中セミナー	12 
13 	14	15	16	17	18 ◆作文倶楽部 土曜日クラス ◇第10回 SST 年中セミナー	19 
20 	21	22	23	24	25 	26 地球応援団！ COSMOS “TROPICAL WORLD”
27 	28 	29 	30 	31 		

★10月25日から10月31日までのSST・SSK・作文倶楽部の通常授業はお休みです。



は、休塾日です。

お問い合わせ

月	火	水	木	金	土	日
---	---	---	---	---	---	---

		1	2	3	4 ★キッズラボ 月2回クラス ◆SST年長 土曜日クラス ●作文倶楽部 月2回クラス	5 ☆キッズラボ 月1回授業日
6 	7	8	9	10	11 ★キッズラボ 月2回クラス ◆SST年長 土曜日クラス ●作文倶楽部 月2回クラス	12 
13 	14	15	16	17	18 ☆キッズラボ 月1回クラス ◆SST年長 土曜日クラス	19 
20 	21	22	23	24	25 	26 地球応援団！ COSMOS "TROPICAL WORLD"
27 	28 	29 	30 	31 		

★10月25日から10月31日までの
SST・SSK・作文倶楽部・キッズラボの通常授業はお休みです。



お問い合わせ

10月のご案内

地球応援団！COSMOS Act. 6

地球応援団！COSMOSは、11月29日（土）・11月30日（日）に3～6年生を対象とした宿泊イベントを行います。今回のCOSMOSでは、普段のCOSMOSとは一味違う“日本の技術”をテーマに実際に体験し、その技術について学びます。詳しい内容は10月中旬よりご案内を予定しております。ぜひご参加ください。

★10月18日（土）申込みスタート

☆小学3～6年生対象

☆スクール生以外のお友達も一緒に参加していただけますので、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。



秋のシーガル読書マラソン

毎回シーガルっ子たちに読書ブームを巻き起こしている「シーガル読書マラソン」。すっかり定着しつつありますが、もちろん、この秋も実施します。

今回は10月13日（火）からのスタートで、期間は春と同じ2か月間（12月13日まで）です。春におこなった前回の「シーガル読書マラソン」では、たくさん子どもたちが本と出会い、自分たちの学年の目標を達成することができました。読書マラソン後も「本を借りたい」と一生懸命本を選んでいる子や読書マラソンをきっかけに本が大好きになった子もいました。秋も読書を通して、感じたり、想像したり、考えたり、そして本の楽しさ・面白さをもっと知ってほしいと思います。

☆詳細は10月より配付するレターをご覧ください。

☆期間中は、前回同様にシーガル文庫の図書を1回に2冊まで借りることができます。



SST年中セミナーのお知らせ

9月より SST 年中セミナー後期が始まりました。後期は全9回となっており、一回完結となっておりますので、是非お気軽にご参加ください。

★開講日時：10月11日（土）・10月18日（土）
11月1日（土）・11月16日（土）
12月13日（土）・12月20日（土）
1月31日（土）・2月14日（土）

★定員：1クラス6名

☆詳細は別途配付いたします。レターをご覧ください。



教室はどこにある？

朝夕の風も涼しくなり、秋の訪れを感じる季節となりました。朝と夜の寒暖差が大きいと農作物の甘みが増すということで、秋の味覚を例年以上に楽しむことができそうですね。

さて、今年のシーガルスクールの夏“シーサマ”も元気な子どもたちの笑顔でいっぱい、太陽の日差しに負けないくらいの“熱い”夏となりました。そんな暑い夏休みの締めくくりは、作文倶楽部×COSMOSコラボイベント『SOY STORY ～大豆の七変化～』。子どもたちと三日間、大豆の追跡調査を行いました。

一日目は、西村自然農園で農業体験。大自然の中、自らの手でピーマン、トマト、トウモロコシなどを収穫しました。苦くて苦手な子も多いピーマンを生のままパクリとかじって「美味しい！」と満面の笑みを見せてくれる子どもたち。そして、大豆になる前の姿が枝豆ということに驚く子どもたち。今回は、さらに大豆を使って豆腐作りにも挑戦することに。大豆をミキサーにかけて味見すると“えっ、美味しくない”と心配そうな子どもたち。途中、何度も味見をしていくと、少しずつだけ美味しくなっていることにドキドキわくわくし、豆腐ができることが待ち遠しい様子でした。最後に、自分達で収穫し調理したものを食べると、苦手と言っていたニンジンパクパク食べる子もいれば、野草のてんぷらをお代わりしたいと争奪戦を繰り広げる子どもたち。その子どもたちの様子は言葉で明確には表現できないけれども、心と体でいろいろなことを感じたからこそその姿だったのではないのでしょうか。

二日目は、いかに大豆がわたしたちの生活に深く関わりがあるのかを調査するためにスーパーへお出かけ。いろんな商品の原材料に“大豆”の文字があることに、大豆の力を実感した様子。さらに大豆の変身の代表的なもの、味噌作りの現場を見学に行きました。そして、三日目にはしっかり記録を残すということで、それぞれのスケッチブックに『MY SOY STORY』を書きこみました。

近年は、何でも手軽に手に入ることで「食」に対する興味も薄れ、さらにはその「食」が自然と強く結び付いていることを感じる機会が少なくなりました。ですが、「食」への興味や自然との結び付きを感じることは、わたしたち人間にとって時代が変わろうと昔も今も欠かしてはいけないことではないのでしょうか。自然の中に飛び出すと、子どもたちは本能のままに感じ吸収していきます。そこで得たことは、机に向かって得たことの何十倍もの発見・驚きがあり、子どもたちの心に強く刻まれていくのです。日々、忙しい生活を送る子どもたちですが、彼らが持っている力を最大限に引き出していくためにも、小さな一つの教室に留まるのではなく、もっと大きな自然と共に飛び出していく機会を大切にしていきたいと思えます。

